

# 長時間労働削減に積極的に取り組むベストプラクティス 企業を労働局長・運輸支局長が合同で訪問しました

神奈川県労働局長は、令和5年11月21日（火）、過重労働解消キャンペーンの一環として、時間外労働の削減など働き方の見直しに積極的に取り組んでいる「ベストプラクティス企業」を訪問しました。

今年度は初めての試みとして、神奈川県労働局長と神奈川県運輸支局長が合同で物流業界における2024年4月の上限規制の適用に向けて連携して取り組んでいる運送事業者と発着荷主を「ベストプラクティス企業」として荷主会社の日産自動車（株）相模原部品センターを訪問しました。

訪問当日は、ご担当者から、自動車運転者の長時間労働の解消のために発着荷主と運送事業者が連携した具体的な取り組みの説明があり、神奈川県労働局長、神奈川県運輸支局長との意見交換を行いました。

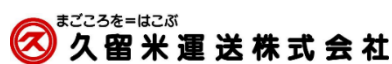
## ベストプラクティス企業概要

### 【荷主】日産自動車株式会社 相模原部品センター

所在地 相模原市南区麻溝台一丁目4番1号  
(本社 神奈川県横浜市西区高島)  
事業内容 国内・海外向けサービス部品の調達・出荷  
労働者数 約1,061人



### 【元請】久留米運送株式会社 神奈川支店



所在地 神奈川県伊勢原市下落合352-10  
(本社 福岡県久留米市東櫛原町)  
事業内容 貨物自動車運送業  
労働者数 約80人



### 【実運行】フジトランスポート株式会社 野田支店



所在地 千葉県野田市花井282番2  
(本社 奈良県奈良市北之庄町)  
事業内容 貨物自動車運送業  
労働者数 約65人



訪問当日は、荷主会社の日産自動車株式会社のご担当者から、荷主会社と運送事業者が協力しながら、長距離輸送に中継地点を設けたドライバーの交代、荷主会社と運送事業者によるトラック GPS システムの活用、荷揃え完了時のドライバーへの SMS による通知等のトラック



ドライバーの労働時間を削減する取組についてご説明がありました。この後、トラックドライバーが休憩する仮眠室やシャワー室を見学させていただき、荷揃え完了時にドライバーへ SMS による通知を行うシステムの運用方法についてご説明をいただきました。また、荷主会社による荷積み作業の実演と合計

80 台が駐車できるトラック駐車ポートを見学させていただきました。神奈川県労働局長からは、汎用のシステムを使用されていることの有用性と運送会社が自社でシステムエンジニアを活用されていることも大変参考になったとのコメントがあり、引き続き荷主会社と運送事業者で連携して労働時間の削減に取り組んでもらいたいとのメッセージが送られました。神奈川県運輸支局長からは、交通事故防止



の側面からもこのような取り組みを推し進めていただきたいとのメッセージが送られました。日産自動車株式会社の瓜生センター長からは、「ドライバー不足の時代を迎えるにあたって、荷を運んでもらうことができない事態にならないよう、引き続き運送事業者と連携して自動車運転者の労働時間の削減に取り組んでいきたい。」と決意を述べられ、視察を終了しました。

#### 荷主会社の声

- GPS によるトラック運行状況は荷主側にとっても有効な情報となりますが、一方で GPS 情報を荷主側に提供することには抵抗感もあったと思われるので、運送事業者のご理解とご判断に感謝しています。
- 荷積み作業終了後に SMS でドライバーに通知することは、他社でも一般的に使われているプラットフォームを活用しており、ドライバーにも好評でした。
- 将来に向けた倉庫内の入出庫自動化を進めていますが、最後のトラックへの車載～出荷工程は人が介在せざるを得ないため、できるだけ作業計画を平準化することにより、対応できるようにしていきたいと思いを。

#### 運送事業者の声

- ドライバーの途中交代が導入されてから、ドライバーからは労働時間が短くなったとの声があり、また、募集採用の面でも応募者が増えるといった効果が出ています。
- GPS のトラックの運行状況を荷主側に提供することにより、悪天候や事故等により遅延している場合に着荷主側からの到着の見込み時間の問い合わせがなくなる等のメリットもありました。
- 交通事故防止という観点では、全車両に自動ブレーキを装着していることも効果が出ていると思います。

## 荷主と運送事業者が連携した取組

### ○ 中継地点を設けたドライバーの交代

#### ◆ 遠距離配送の問題点

訪問した日産自動車株式会社では、補修部品を相模原部品センターの1拠点から全国に配送する体制となっている。遠距離の配送では、北海道・九州方面はフェリーが主力となっているが、中国・四国方面はワンマン便の長距離トラック便のみであったため、トラック運転手の運転時間が最大で10時間を超えるような状況で、改善が必要となっていた。

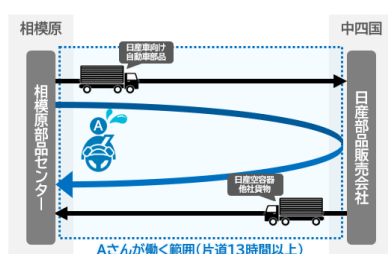
#### ◆ 改善へ向けた動き

このような状況において、運送事業者の久留米運送株式会社及びフジトランスポート株式会社から、荷主の日産自動車株式会社にドライバーを途中で交代することについて提案

がなされた。具体的には、交代地において、別のドライバーが当該トラックに乗って目的地まで運転し、出発地から運転してきたドライバーは、交代地において別のトラックに乗って出発地まで運転するというもの。

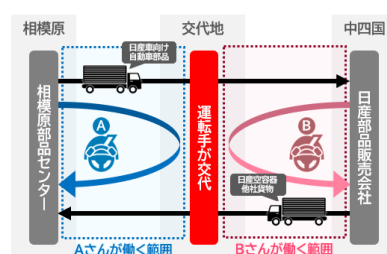
#### 従来の長距離配送イメージ

ドライバー1人で相模原から中四国エリアまで直行輸送  
片道13時間以上を要する長時間労働が定着



#### ドライバー交代の導入イメージ

道中の交代地で運転を交代、別トラックで相模原へと帰る  
ドライバー1人の輸送範囲を減らすことで負荷を削減



#### ◆ ドライバー交代の課題

途中でドライバーを交代するためには、交代地において確実に交代のためのドライバーと出発地に戻るためのトラックを用意する必要があった。また、人員を確保するためのコストも余計に必要であった。

#### ◆ 改善に向けた荷主・運送事業者の取り組み

ドライバーを途中で交代することについては、顧客が輸送の遅延や部品の破損等について懸念を示したため、発荷主及び運送事業者で顧客に対する説明を丁寧に行うとともに、実走トライアルを実施して顧客の理解を得た。



#### ◆ 遠距離配送の改善後の状況

ドライバーを中継地点で交代する取り組みを導入して、中国・四国方面の直行便をすべて廃止することに成功し、当該方面へのドライバーの最大運転時間は8時間前後まで縮小される結果となった。

#### ◆ 突発的な事象の発生とそれを受けた取り組み

ドライバー交代の運用を開始して5日後に山陽道トンネル火災が発生して通行止めとなり、一般道に迂回しなければならない事態となった。このような突発的な事象を受け、倉庫内の作業を前倒しし、1日あたり平均して45分早くトラックが出発できるようにして、ドライバーが余裕をもって運転できるようにした。



○ 荷主と運送事業者による GPS 情報の共有

- ◆ あらゆる情報を GPS 機器によって可視化  
運送事業者向けの GPS 情報を荷主にも開示し、トラックの現在位置はもちろんのこと、走行スピード、休憩時間の取得状況、天候の状況、計画ルートと走行ルートの確認等について荷主も確認することができ、運送事業者と荷主でドライバーを見守ることができる体制となった。

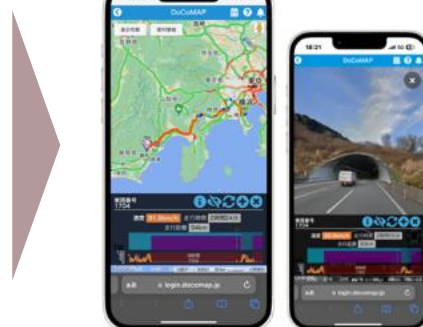


実際のシステム画面集



スマホ表示にも対応

スマートフォンにも最適化されており  
外出先でも即座にチェックできる



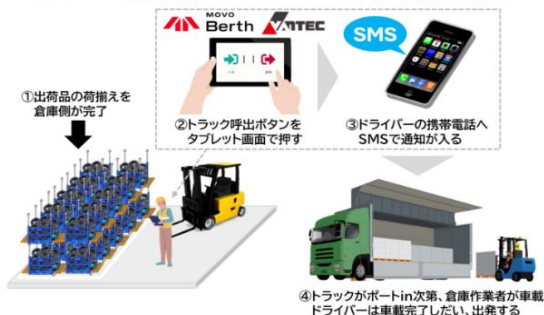
○ ドライバーの休憩環境の確保

- ◆ 荷積み完了時のドライバーへの SMS による通知  
以前は倉庫側の荷積み準備が完了するまでドライバーが待機する事象が発生していた。そこで、ドライバーの携帯電話へ SMS 通知で「荷積み準備完了」を知らせるシステムを導入。荷積み準備の完了を知ってからトラックをポートインする運用に変更したことで、無駄な待機時間を削減。ドライバーが出発直前までゆっくり休憩できるようになった。

ドライバー待機時間ゼロ化の対応

協力：株式会社バンテック  
提供：株式会社Hacobu様

荷揃え完了後、ドライバーの携帯電話へ SMS でポートイン指示が飛び、ドライバーの待機時間ゼロで、スムーズな車載～出発へと繋ぐ



- ◆ 快適な休憩環境の提供

仮眠室やシャワー室を確保したほか、大黒パーキングエリアの大型駐車場を上回る台数を駐車できる駐車スペースを確保し、ドライバーが完全に休憩することができるようにした。



○ トラック台数を減らす取り組み

- ◆ 荷台室内長さが長い車両の導入  
通常車両よりも荷台室内長さが長い車両を導入し、荷量を多く積載して限られたドライバーで運行できるように対応した。